様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

令和　３年　１０月　１４日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
大阪府守口市大日町１－３－７

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
大宝工業株式会社　代表取締役　國友　省爾

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例〔第20条第３項・~~第20条第４項~~ ~~第22条第１項・第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~〕の規定に基づき、事業者行動計画を策定（~~変更~~）したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	大宝工業株式会社　代表取締役　國友　省爾
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	大阪府守口市大日町１－３－７

１　事業所の概要

事業所の名称	大宝工業株式会社　関西カンパニー　湖南工場					
事業所の所在地	湖南市石部口３－５－１					
主たる事業	細分類番号	１	８	３	１	電気機械器具用プラスチック製品製造業
該当する事業者の要件	☑　原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	□　任意提出事業者					

２　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４番とします。

標準様式第１号

（第１面）

1　計画期間

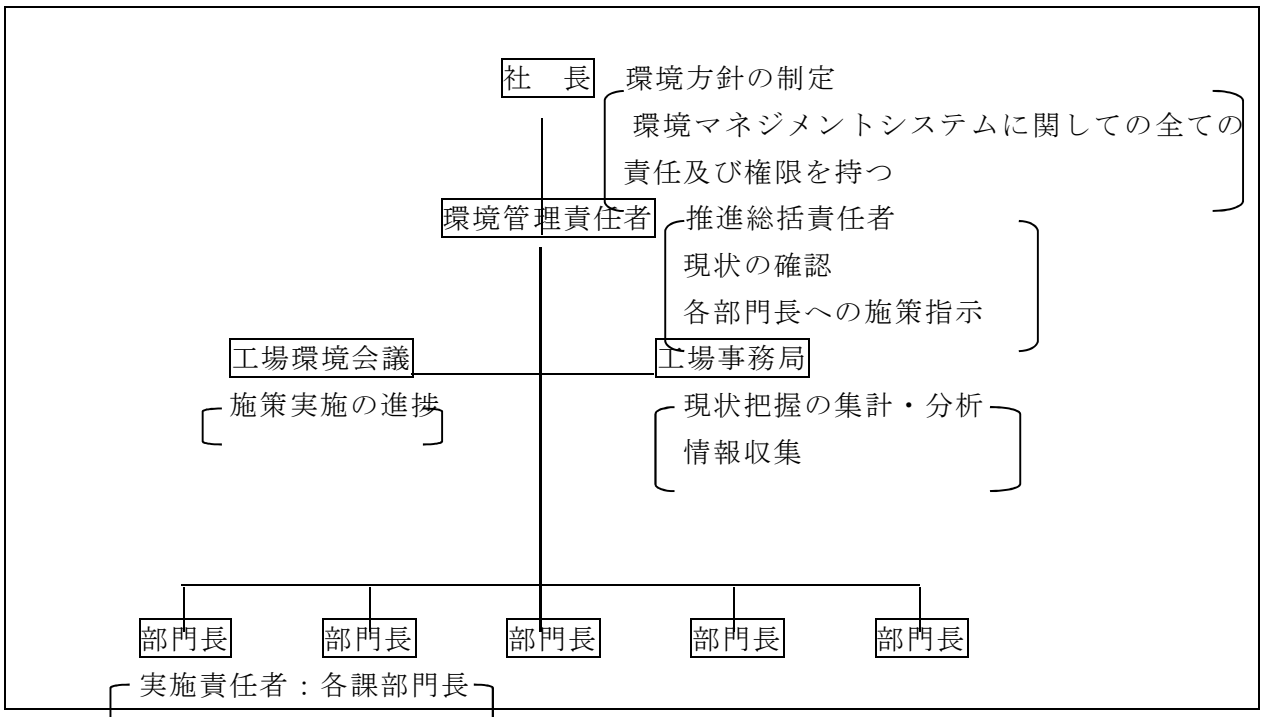
計画期間	令和３年度～令和７年度

2　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大宝工業株式会社関西カンパニー湖南工場は、エネルギー消費・廃棄物処理等、環境影響を与える可能性を有してるため、環境との調和を経営の最重点課題の一つとし、先取りの地球環境保全に努め、全ての従業員が、英知を結集し、技術的・経済的に可能な範囲で、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

1. ＩＳＯ１４００１：２０１５の要求事項に沿った環境マネジメントシステムを築し推進します。
２．環境汚染予防の推進と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
３．当社の環境側面に関係して適用を受ける法的要求事項及び、同意したその他要求事項を順守します。
４．事業所内・外の良好な環境維持のため環境負荷改善に取り組みます。
　〇環境に有益な事業活動（リサイクル材の推進）
　〇エネルギーの効率的使用
　〇資源の効率的使用
　〇廃棄物＝廃棄プラスチック等の削減
５．環境目的・目標を設定・実行すると供に定期的にシステムを見直し、全従業員で環境管理を推進します。

3　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

４　これまで取組みできた低炭素社会づくりに係る取組み

省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的な取組みを行っている。

○照明器の不要照明消灯による電力量削減（６０％削減・水銀灯）。
○照明器の間引き及び不要照明消灯による電力量削減（４０％削減・蛍光灯）。
○エアーコンプレッサー配管エアー漏れ対策を実行し電力量の削減に寄与した。
○ボイラーの使用状況を分析し、４台有るボイラーを１台休止させることにより、重油使用量の削減。
○電気室・機械室の温度設定による換気の停止。
○電気設備の設備稼働状況に合わせた進相コンデンサの適正運転（力率調整器導入）。
○事務用機器の不要時の電源切断及び省電力モードの利用。
○成形機のシリンダーに保温カバーを設置して、熱エネルギーの損失を防ぎ電力量削減。
○プラスチック製品粉砕機の未使用時の自動停止による、電力節減

これらの取組みにより、生産額を基準とした温室効果ガス（エネルギー起源ＣＯ2）の排出量が平成２７年度より２．１％削減している。

（第３面）

5　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	小型貫流ボイラーの更新。（年間２０ｔ－ＣＯ2削減）	令和３年度～令和７年度
2	設備導入対策	射出成形機付帯設備（取出機、金型冷却機、材料乾燥機）の更新。（年間５０t－ＣＯ2削減）	令和３年度～令和７年度
3	設備導入対策	油圧式射出成型機を更新時電動式タイプにする。（年間７０t－ＣＯ2削減）。	令和３年度～令和７年度
4			
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記（１）の取組等により、令和２年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。

温室効果ガス排出量

原単位　　で毎年１％削減

生産額

なお、原単位の考え方は次のとおりです。

温室効果ガス排出量は製品のサイズ、形状に大きく影響を受けるため、生産額を原単位の指標（分母）として設定しました。なお、実績を目標値と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定に当たっては、電気のＣＯ$_2$排出係数（電力原単位）は基準年度の係数に固定して算定します。

6　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

○廃家電から取出したＰＰ（ポリプロピレン）樹脂を回収し、金属除去、異物除去工程後、当社オリジナルの洗浄設備と洗浄液（天然素材）で食品衛生法の基準をクリア―できる再生樹脂を生産しており、リサイクル材使用製品生産することにより、温室効果ガス排出削減に貢献するものです。リサイクル材使用製品を社会へ供給することを通じて、低炭素社会づくりを推進しています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標　　リサイクル材使用可能製品のシェア向上

考え方　リサイクル樹脂の品質保証を強化するために、樹脂物性検査機器の充実化、体制強化を図ります。また、お客様が求める物性を持つ「オリジナルリサイクル樹脂」開発を進めております。

7　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により 達成しようとする目標	実施スケジュール
1	３Ｒの推進	廃棄物の分別、発生の抑制、再利用化の促進	令和３年度～令和７年度
2	再生可能エネルギーの導入	太陽光発電設備の導入	令和３年度～令和７年度
3	その他	敷地内、壁面等の緑化。夏場屋根を水による冷却	令和３年度～令和７年度
4			
5			
6			
7			
8			